

今後の検討スケジュールについて

<検討事項>

- 2013 年以降の対策・施策について
- 2050 年に国内 80%削減を目指した場合にどのような社会が想定されるかについては、2 月 22 日に議論予定の技術 WG 及びマクロフレーム WG の報告を踏まえ検討、評価を行う。
- 「他の追随を許さない世界最高水準の省エネ」、「後塵を拝した再エネを世界最高水準に引上げ」、「対策の裏付けとなる施策を明示」がされているかについては、2 月 27 日の自動車 WG、3 月 2 日のエネルギー供給 WG、3 月 7 日の住宅・建築物 WG、地域 WG、3 月 15 日の低炭素ビジネス WG の報告を踏まえ検討、評価を行う。
- 「世界をリードするグリーン成長国家の実現」を達成するものとなっているかについては、各 WG からの報告が終了した後の各 WG の検討を踏まえた議論の際に検討、評価を行う。

<検討スケジュール>

2011 年度

- 8 月 2 日 第 1 回
東日本大震災を踏まえ、低炭素社会構築のために議論すべき論点について(1) 等
- 8 月 30 日 第 2 回
東日本大震災を踏まえ、低炭素社会構築のために議論すべき論点について(2)
ワーキンググループの設置について 等
- 9 月 29 日～12 月 21 日 第 3 回～6 回
関係者からのヒアリング 等
- 1 月 18 日 第 7 回
関係者からのヒアリング
国内外の動向等について 等

- 2月10日 第8回
関係者からのヒアリング総括
コミュニケーション・マーケティング WG 報告 等
- 2月22日 第9回
マクロフレーム WG、技術 WG 報告 等
- 2月27日 第10回
自動車 WG 報告 等
- 3月2日 第11回
エネルギー供給 WG 報告 等
- 3月7日 第12回
住宅・建築物 WG、地域づくり WG 報告 等
- 3月15日 第13回
低炭素ビジネス WG 報告 等
- 3月28日
各 WG の検討を踏まえた議論

2012 年度

- 年度始め（目途） 2013 年以降の対策・施策について（とりまとめ）

※検討状況については、順次、委員長及び事務局から中央環境審議会地球環境部会に報告を予定。